



わたしたちのくらしからみる

戦争と憲法

開館 金・土・日・祝日 10:00～17:00



今年 2026 年は、1946 年 11 月 3 日の日本国憲法公布から 80 年の節目です。
昭和のくらし博物館は、3つの展示をとおして、くらしの視点から戦争と憲法について、
みなさんと一緒に考えます。

T146-0084

東京都大田区南久が原2-26-19

東急池上線「久が原」、または、東急多摩川線
「下丸子」より徒歩約8分

03-3750-1808

金・土・日曜日・祝日 10:00~17:00

休館日 月～木曜日

2026年度の臨時休館日は9月4日（金）～9月10日（木）、12月28日（月）～1月7日（木）

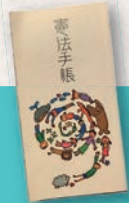
④ 入館料（維持協力費）

本館：大人 1000円／小学生～高校生 500
円／未就学児 無料／障がい者手帳をお持ち
の方と同伴の方 5割引

別館入館料・年間パスポート・団体見学など詳細は昭和のくらし博物館公式サイトをご覧ください



ポケットに憲法を！
小冊子「憲法手帳」を頒布します



<https://www.showanokurashi.com>

詳細や最新情報・イベント申込
などは公式サイトをご覧ください



2026 年度企画 わたしたちのくらしからみる 戦争と憲法

今年2026年は、1946年11月3日の日本国憲法公布から80年の節目です。
昭和のくらし博物館は、3つの展示をとおして、くらしの視点から戦争
と憲法について、みなさんと一緒に考えます。

新館2階 / 本館 茶の間

2026年7月31日(金)～12月27日(日)

特別展 「小泉家に残る戦争」

千人針、国民服、防毒マスク、女学生の日記、焼け跡から掘り出して大事に使ったティーカップ。博物館となった小泉家には、戦禍を逃れて残ったわずかな戦争資料と共に、全国から寄せられた戦時中のくらしを物語る資料があります。今も家庭に眠る戦争の記憶と傷跡から平和を考えます。

茶の間 戦時中の室内再現 7月31日(金)～8月30日(日)
新館2階 所蔵資料の展示 7月31日(金)～12月27日(日)



新館1階 談話室

2026年7月31日(金)～12月27日(日)

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」 プロジェクト展

●戦争と〈私〉をつなぐ自由研究

さまざまな人が〈私〉とのつながりを糸口にした自由研究。その経過をサイトで報告しながら継続中。来館者を巻き込んで輪を広げていきます。

●「戦時中の手記」を読む

博物館に寄贈された「日記」や「手記」を紹介。日常の中に忍びこむ「戦争」と「戦争」の中の日常。その境目のあいまいさについて考えたい。

●触れる〈戦争〉の時間

千人針や軍事郵便、子供たちの書いた慰問文、当時の新聞など、戦時中のモノを手にとって触れる時間を設けます。そこには、人々が確かに生きていた日常の匂いや手触りがある。

●戦時中の「標語」を貼ってみる

かつて人々を戦争へと煽った「標語」の数々。そのレプリカを作って、実際に貼ってみる。そこから見えてくるのは…私たちの今？

●戦争と〈私〉の本棚、戦争と〈私〉物語のカケラも継続中。



参加型の展示です！



<https://war-watashi.showanokurashi.com>
「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」
プロジェクト特設サイト

本館2階 企画展示室

2026年9月11日(金)～2027年3月28日(日)

第17回企画展 「いまこそ憲法！ 憲法を広めよう!!」

昭和のくらし博物館の企画展では、1999年の開館以来、くらしの視点から昭和という激動の時代をいろいろな角度から探究してきました。どこから切り取っても、その根底には戦前の帝国主義から戦後の民主主義への変化がわたしたちのくらしの隅々にまで大きく影響していました。

今回の企画展では、その「根底」である「憲法」をとりあげます。

今こそ、原点に立ち返って、憲法を学び、戦後、「平和主義(9条)」、「国民主権」、「基本的人権の尊重」という三大原則によって、私たちのくらしがどのように変わったかを知り、私たちのくらしをまもる憲法の活かし方を考えます。



詳細や最新情報は公式ウェブサイトをご覧ください。

昭和のくらし博物館

<https://www.showanokurashi.com>

